（素案）

資料８

社会教育計画　事業一覧

施策8　青少年の育成	
家庭教育セミナーの支援（社会教育課）	PTA が企画・実施する家庭教育セミナーに対し、助言や情報提供、助成等を行うとともに、開催しやすい環境づくりに取り組む。
公民館家庭教育事業の実施(公民館)	子育ての悩みを抱える保護者に学習機会や情報を提供し、子育て家庭の支援と地域で子どもを守る取組を推進する。
市民ニーズに応じた家庭教育への支援策の検討(社会教育課)	様々な家庭の教育力向上を図るため、市民のニーズに応じた家庭教育への支援策の検討を行う。
地域で活躍できる人材の育成(社会教育課)	各年代向けリーダー講習会やレクリエーション講習会を実施し、青少年の健全育成と地域人材の育成を図る。
青少年交流館の運営(社会教育課)	青少年が同世代や異世代との交流を通じて、社会性や協調性を育み、豊かな人間性の形成を図る。
公民館青少年教育事業の実施(公民館)	青少年が様々な体験を通して楽しく学び、仲間づくりを通じて、変化の激しい社会を「生き抜く力」の向上を図る。
二十歳のつどいの運営(社会教育課)	二十歳のつどいを開催し、将来を考える機会を提供するとともに、若者の主体的な参加を促進する。
調布っ子“夢”発表会の実施(社会教育課)	子どもたちに意見発表の機会を提供し、活動を通じてまちづくりへの参加意識の向上を図る。
八ケ岳少年自然の家の管理運営(社会教育課)	昭和58年に開設した施設であり、施設(外構含む)の老朽化が進んでいるため、計画的に維持保全を実施する。
中学生海外体験学習事業の実施(社会教育課)	次代を担う調布市の中学生が、外国の文化、生活等を直接体験することで、多文化共生への理解を深めるとともに、国際的な視野やコミュニケーション能力を得て、国際社会で主体的に行動できるグローバルな人材へと成長する契機とすることを目的として実施する。

施策9　生涯学習社会への対応	
社会的に制約のある方の学習参加の支援(公民館)	社会的に制約のある人(障害者等)が参加しやすい学習の機会を創出し、主体的な学びへの意欲や、地域や社会への貢献への意欲の向上を図る。
学習グループのサポート（社会教育課）	市民の自主的なグループ学習を支援し、学習成果の地域還元を通じて活動の発展と活性化を図る。
社会教育関係団体の育成と支援(社会教育課)	社会教育関係団体への助成を通じて、市民の自主的な社会教育活動の促進と発展を支援する。
公民館登録団体の地域参加の検討・充実、組織化への支援(公民館)	公民館登録団体との共催や学習グループの育成・登録団体化支援を通じて、自主的な活動と地域活性化を図る。
公民館登録団体の活動支援(公民館)	公民館登録団体の活動を支援し、学習や成果発表の場を提供して生涯学習の推進を図る。
公民館利用団体連絡会の活動支援(公民館)	公民館で活動する団体の交流と連携を目的とした連絡会を通じて、地域に潜在する人材の発掘・活用による地域活性化を図る。
学校施設の開放による市民活動の支援（社会教育課）	学校施設を開放し、スポーツ・レクリエーション活動の振興と地域交流の促進を図る。
杉の木青年教室事業(社会教育課)	特別支援学級を卒業した社会人の青年を対象に、スポーツや工作など、様々な社会体験や集団行動に参加する機会を提供する。
遊ing事業の推進（社会教育課）	特別支援学級に在籍する児童・生徒を対象に、スポーツや工作、映画鑑賞など、楽しく遊びながら社会体験の機会を提供する。

のびのびサークル事業の推進	特別支援学級又は特別支援学校の在籍者・卒業生を対象に、ダンス活動を中心に、社会体験の機会を提供する。
公民館成人教育事業の実施(公民館)	市民がそれぞれに必要なテーマを生涯を通して学習できるように学習の機会を提供し、学びを活かす取組につなげていく。
公民館国際理解教育事業の実施(公民館)	常に変化する国際社会や多様な文化への理解を深める学習機会を提供し、国際交流と多文化共生の地域づくりを促進する。
公民館高齢者教育事業の実施(公民館)	高齢者の不安解消や健康増進を目的に、学習と交流の機会を継続的に提供し、高齢者の健康づくりや生きがいづくりを支援する。
公民館地域連携事業の推進(公民館)	地域の団体や関係機関などと連携し、地域課題や生活課題を題材にした事業等を実施し、地域交流の活性化に取り組む。
公民館の適切な維持管理、Wi－fi 利用の推進(公民館)	老朽化が進む施設について計画的な施設改修や、利用団体への Wi－fi の利用を促進し、安全で快適な学習環境を提供する。
地域文化祭の実施(公民館)	登録団体等の学習成果を発表や還元する場として、また地域住民との交流を深める場として、地域文化祭を企画・運営する。
公民館の施設予約システム導入(公民館)	公民館において、施設予約システムを導入し、利用者の利便性の向上と新たな利用者層の取組みを図る。
図書館における、地域の学習拠点・交流の場としての事業の実施、場の提供(図書館)	身近かな地域の施設として、多様な資料や情報を提供するとともに、読書推進に向けた講演会等を開催する。また市民の読書活動推進に向けたサークル活動の支援などを行う。分館における読書活動への集会室貸出や、利用者懇談会、利用支援事業協力者懇談会、ボランティアミーティングなどを行う。
市内学校との連携等、地域資源の活用による事業の充実(図書館)	市内にある学校、施設、団体等と連携し、読書推進に向けたサービス・事業の充実を図る。
レファレンスサービス、図書館利用に障害のある人々へのサービスの充実(図書館)	資料探索や調査研究の支援、また調べ方の案内シートの作成などを行い、利用者が求める資料を探索する支援や環境整備を行う。また、だれもが図書館サービスを利用できるよう音訳、点訳、宅配サービス等の提供・充実を図る。
市民ニーズに応じた図書館サービスの検討(図書館)	市民のニーズ、利用状況などを踏まえ、さらなる市民サービス向上に向けた検討を行う。
「調布市子ども読書活動推進計画」に基づく取組推進(図書館)	子どもの発達段階に応じた読書環境の整備・充実を図るとともに、読書する上で配慮を必要とする子どもへの支援充実に向けた取組を推進する。
中高生世代を対象としたYA(ヤングアダルト)サービスの充実(図書館)	図書館利用が途切れやすいYA(中高生世代を中心としたおおむね 13～19 歳の利用者)に向けた蔵書構築や展示、イベントの充実に努める。
図書館施設の適正な維持管理及び施設整備への取組(図書館)	宮の下分館・緑ケ丘分館・若葉分館移転整備を着実に進めるとともに、各施設の適正な維持管理に努める。
学習及び多様な文化活動に資するための資料の迅速な提供と適切な保存(図書館)	必要な資料や情報を選定・収集・整理・保存し、利用に供するため、使いやすい目録やデータの整備等を行う。
地域資料のデジタル化の推進(図書館)	調布や地域に関連する地域資料を保全しつつ利用を図るため、対象資料を精査しながら資料のデジタル化を進める。

施策10　地域ゆかりの文化の保存と継承	
文化財の保存・活用 （郷土博物館）	調布市文化財保護審議会の調査審議に基づき、文化財の指定・登録、文化財説明板の新設・更新を行う。東京文化財ウィークに参画し、文化財に触れる機会の充実を図るほか、講演会、展示等を実施する。また、調布市教育委員会が所管する史跡（下布田遺跡、深大寺城跡、狐塚古墳、近藤勇生家跡）や国登録有形文化財真木家住宅の適切な保存管理を継続するとともに、活用に向けた検討、試行を重ねる。
文化財の所有者への支援 （郷土博物館）	調布市文化財保存事業費補助金交付事業により、所有者が行う市指定文化財の保存修理事業を支援する。また、調布市文化財保護審議会の調査審議に基づき、文化財の価値を損なわない修理手法や適切な専門業者に関する情報提供など、文化財の所有者への技術的な助言や指導を行う。
郷土芸能の保存・継承 （郷土博物館）	市指定無形民俗文化財「調布のまつりばやし」のほか、未指定の無形民俗文化財「下石原八幡神社の獅子舞」など、市内に残る郷土芸能の保存と継承の取組を支援する。また、後継者の育成や市民の郷土愛の育成に寄与するため、調布市郷土芸能祭ばやし保存会、調布市、調布市教育委員会の共催により「調布市郷土芸能祭ばやし保存大会」を開催する。
国史跡下布田遺跡の整備・活用（郷土博物館）	国史跡下布田遺跡整備事業を推進し、令和9年度末頃のガイダンス施設開館を目指す。開館後は、縄文時代や下布田遺跡への深い理解につなげるため、展示解説、体験学習プログラム、学校連携事業、講演会を開催するほか、刊行物の発行、情報発信を行う。
ボランティアの育成と地域の活力の向上の取組（郷土博物館）	縄文時代の遺跡と貴重な自然環境を守り、「地域の宝」として次世代に継承していくために、下布田遺跡の保全と活用の担い手となるボランティアを育成する。ガイダンス施設職員やボランティアが、来訪者の拠り所となり，人と人、資料、情報など、様々な「つながりづくり」の中核を担い，下布田遺跡の多面的な価値を活用する取組を支えていく。多くの人の協力による「縄文まつり」の開催を検討する。
市内埋蔵文化財発掘調査 （郷土博物館）	文化財保護法に基づき、市内埋蔵文化財包蔵地内で開発行為を行う場合の所定の手続きを受け付ける。開発行為によって埋蔵文化財が破壊される可能性がある場合は、工事前に「試掘調査」を実施する。また、掘削深度が浅く埋蔵文化財に影響がない場合は、「立会調査」を実施する。
郷土の歴史・文化を核とした博物館事業の推進（郷土博物館）	郷土の歴史や文化に関する資料等の収集、調査・研究を行い、展示や教育普及活動を通して、身近な歴史・文化に触れる機会を提供する。また、美術資料等の収集方針に基づく資料収集、展示室・収蔵庫の管理に関する指針に基づく資料保管、美術作品の修復、フィルム映像資料のデジタル化、資料貸出し、刊行物の発行、公式YouTubeチャンネルやSNSを活用した魅力発信、市報、市HP、「すぐーる」による情報発信、研修・実習の受入れなどを行う。
博物館収蔵資料台帳の整備とデジタルアーカイブ化の推進（郷土博物館）	複数に分かれて存在する博物館収蔵資料台帳の一本化とデータ化を進める。また、博物館収蔵資料台帳のデータ化においては、関連情報や画像データを紐づけたデジタルアーカイブ化に努めるとともに、権利関係の問題がないものについては、順次公開を進めていく。生活文化部スポーツ部が所管する特設サイト「調布市平和デジタルアーカイブ」との連携公開を充実させていく。
郷土の歴史・文化の調査研究と展示や教育普及事業への活用（郷土博物館）	市内旧家に伝わる資料や近藤勇に関する資料など、調布市を特徴づける歴史・文化の調査研究、記録保存を推進する。また、調査研究の成果をギャラリー展や企画展その他教育普及事業などで活用していく。

学校教育の学習内容に即した展示や出前授業等の実施(郷土博物館)	小学校3年生「調布市のうつりかわり」・「昔のくらし」の学習内容に即して、道具の移り変わりや近代・現代の調布の風景や暮らしの変化を紹介する郷土学習展「ちょっと昔の暮らし」を開催する。また、体験だけでなく、多くの道具や写真を見ることができる「館内授業(団体見学)」と、郷土博物館職員が出張し学校で道具の体験をすることができる「出前授業」を実施する。
継承の意識の共有に向けた取組(郷土博物館)	地域ゆかりの文化を次世代に継承する意識をより多くの市民と共有するために、写真寄贈の受付や市民サポーターの育成などを検討、実施する。
郷土博物館の機能・役割、施設に関する課題・方向性の整理(郷土博物館)	公共施設マネジメント計画に基づき、博物館施設や収蔵庫の在り方検討を行う。多摩川浸水想定区域からの収蔵資料の移転、収蔵庫や事務室の狭隘化、バリアフリー対応などの施設的課題の解消や、今後の博物館に求められる機能・役割の整理など、ハード・ソフト両面からの検討を進める。
深大寺水車館管理運営(郷土博物館)	深大寺周辺の歴史・文化や自然とのふれあいを深めるため、水車施設及び関連資料の一般公開と維持管理を行う。また、文化観光の取組として、そば祭りの期間に合わせたそばひき実演や水車を使用する事業の開催の援助を行う。
武者小路実篤を核とした特色ある事業の展開(郷土博物館)	武者小路実篤の幅広い活動や魅力を紹介し、特色ある展示・普及事業を展開することにより、実篤の魅力を全国へ発信する。
博学連携事業の充実(郷土博物館)	実篤記念館では博学連携事業を通じて、豊かな文化的経験の場を子どもたちに提供するとともに、出張展や出前講座を実施する。また、デジタル情報を活用して ICT 教育等に利用できる情報や教材の提供、ホームページの学習サポートページの充実を図る。
実篤関連の作品・資料の収集、整理・保存、修復、活用と情報発信(郷土博物館)	地域ゆかりの貴重な文化遺産である実篤関連の作品・資料を収集、整理・保存、修復し、公開・活用するとともに、後世に伝えていく。また、多岐にわたる実篤関連及び収蔵品の情報を収集し、展示や普及活動の基本資料として活用するとともに、情報発信を推進する。
武者小路実篤記念館の情報提供システム更新(郷土博物館)	情報提供システムでは、収蔵品データベース、情報閲覧システム、ホームページ等を活用し、広く実篤や収蔵品情報を提供する。収蔵品データベースやホームページは、利用ニーズ等の変化を踏まえ、リニューアルを推進する。
実篤記念館の機能向上を図る改修(郷土博物館)	施設の老朽化に対する計画的な施設改修や、作品・資料等を良好な状態に保つため展示・保存環境の維持保全を実施する。
実篤公園・旧実篤邸の保存・活用と、実篤記念館とのより一体的な事業展開の検討(郷土博物館)	地域ゆかりの文化遺産である、登録有形文化財に指定されている旧実篤邸の保存・活用を推進する。また、実篤記念館と実篤公園のより一体的な事業展開を検討する。
地域ゆかりの文化人の文化・芸術活動等の展示・普及事業の推進、資料の収集、保存、提供(図書館)	水木しげる氏やつげ義春氏の作品など、地域ゆかりの文化人等の資料の収集、保存、提供などを行う。
「映画のまち調布」の特色を生かした事業の展開(図書館)	映画関連資料の収集、保存、提供、「映画のまち調布 シネマフェスティバル」関連展示など、「映画のまち調布」の特色を生かした取組を実施する。